

東北大学における 眼循環 Multimodal imaging 症例報告会

Luncheon
Seminar 4



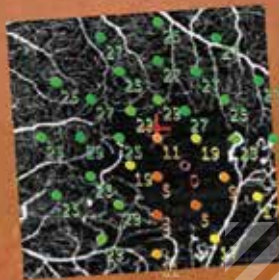
座長

座長のことば

近年の眼科診療の進歩は新しい医療技術の導入とともに日進月歩の如く変化しているといっても過言ではないでしょう。このような状況の中においても日々の診療では、一側面を捉える単一の画像検査機器だけでは診断が困難な場合が少なくありません。多種多様な画像検査機器の結果を組み合わせることで、より有用な診断が可能になります。今回のランチョンセミナーでは、眼循環の領域における「Multimodal imaging」をコンセプトに、東北大学の症例報告会を眼循環学会の会場に移し、皆さんとともに共有し検討することで臨床的有用性の理解を深めていきたいと思えます。講師にはこの内容に適任の面高宗子先生と國方彦志先生にお願いしました。明日からの眼科診療や研究に役立つような最新情報も伺えるものと期待しています。併せて、多くの先生方のご来場をお待ちしています。

中澤 徹先生

Toru Nakazawa
東北大学医学部眼科学教室
主任教授



緑内障診療における
眼循環
Multimodal imaging

演者



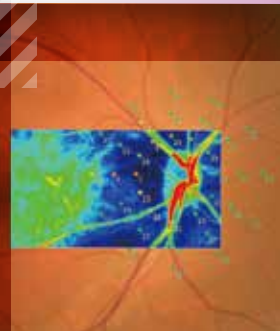
面高 宗子先生

Kazuko Omodaka
東北大学医学部眼科学教室
助教



演者

Multimodal imaging
による網膜疾患の
病態理解



國方 彦志先生

Hiroshi Kunikata
東北大学医学部眼科学教室
准教授